

糠内中学校生徒会が主催 新体育館で3年生を送る会

糠内中学校の生徒会が主催する「3年生を送る会」が3月7日に開催され、在校生が企画したさまざまなゲームで、3年生は残り少ない学校行事を楽しみました。

新しい屋内体育館を本格使用

平成20年度に実施された耐力度調査の結果を受け、改築を進めていた糠内中学校の屋内体育館が3月6日に完成し、「3年生を送る会」で初めての本格利用となりました。

3年生を送る会では、在校生が3つの企画を用意。サイ



▲「3年生 VS 在校生」の様子

▼新体育館で集合写真



コロナに書かれたテーマに沿って、トークを展開する「ごきげんよう糠中バードジョン」や10種類のミニゲームで対決し勝敗を競う「3年生VS在校生」が行われ、真新しい体育館で最後の思い出を作りました。最後の企画には、卒業生の保護者からの手紙の朗読があり、中学校生活を振り返り、涙する生徒もいました。

▼保護者からの手紙の朗読



担任の後藤敏幸先生は「3年生とは、たくさん思い出がある。私の方が楽しく過ごさせてもらったので、感謝の気持ちでいっぱいです」と想いを振り返っていました。3年生の橋本桃佳さんは「楽しさと感動のたくさん詰まった送る会を企画してくれてありがとう」と話していました。

糠内中学校 今昔物語

糠内中学校の創立は昭和22年の5月、糠内小学校の教室で産ぶ声をあげました。大豊から旧軍の兵舎を運んできて建てた独立の校舎が、使用直前に降った大雪で全壊するという、大変残念な事故もありました。

昭和24年8月、糠内中学校下の住民による寄付などで独立校舎が新築により完成しました。その後、昭和35年に屋内体育館が、昭和40年に技術科室、昭和54年に家庭科室と理科室が完成しました。

最近では、平成4年にコンピュータ室が増築、平成26年3月には、新しい屋内体育館が完成しました。

昭和26年、校章が制定されました。桐の中央部に中学の文字を圖案化。花と葉が対称形をなし、協力の心を表現しています。桐の花の美しさや



材質の強靭さは開拓の人々の願いと憧れを示しています。



▲糠内中学校



▲3月に完成した屋内体育館

糠内中学校の沿革

1947年5月(昭和22年)糠内中学校が開校(糠内小学校に併置)

1949年8月(昭和24年)糠内中学校校舎が完成

1952年3月(昭和27年)糠内中学校校歌の制定

1977年月(昭和52年)開校30周年記念式典を挙

1985年4月(昭和60年)駒島中学校の閉校に伴い、糠内中学校に統合(この年の生徒数が68人と過去最大)

1997年11月(平成9年)開校50周年記念式典を挙

2008年7月(平成20年)糠内中学校出身である福島千里選手の北京オリンピック壮行会を実施

2012年6月(平成24年)福島千里選手のロンドンオリンピック壮行会を実施

学校概要

学校長 塚原 雄二
教員数 7人
学級数 2学級
生徒数 10人

※概要は平成25年5月1日現在